

平成22年度公営企業決算の状況

(単位：千円)

区 分		水道事業	国民宿舎事業
収益的収支	営業収益	133,338	313,992
	営業外収益	741	18,835
	計	134,079	332,827
	営業費用	110,377	362,144
	営業外費用	10,423	45,084
	計	120,800	407,228
	純利益/損益	13,279	74,401
資本的収支	貸付金回収金	17,000	0
	出資金	0	56,765
	計	17,000	56,765
	建設改良費	16,428	0
	企業債償還金	16,059	70,145
	計	32,487	70,145

水道事業：資本的収支で15,487千円の不足額となりますが、収入額が支出額に対して不足する額は収益的収支の留保資金で補てんしています。

国民宿舎事業：実質収支が収益的収支、資本的収支を合わせると、87,781千円となりますが、収益的収支の減価償却費等が約87,000千円ありますので、減価償却前ですと収益的収支は約12,600千円の黒字となります。収益的・資本的収支を合わせた平成22年度は約800千円の赤字となりますが、現金預金の調整で一時借入金することなく営業出来ました。

企業会計は、町の会計の中では民間的経理の手法によるものであり、収益的収支は営業に係る収入（料金収入等）と、営業に係る支出（人件費・光熱水費・材料費）と過去に整備した施設の借入金等の利息、将来の施設改修に備える財源となる減価償却費等があります。

資本的収支は、主に施設整備及び借入金の返済等を行うもので、歳入は補助金・借入金等がありますが、他に不足金対策として、収益的収支の減価償却費等現金の支出のない費用による留保資金によりまかさないです。